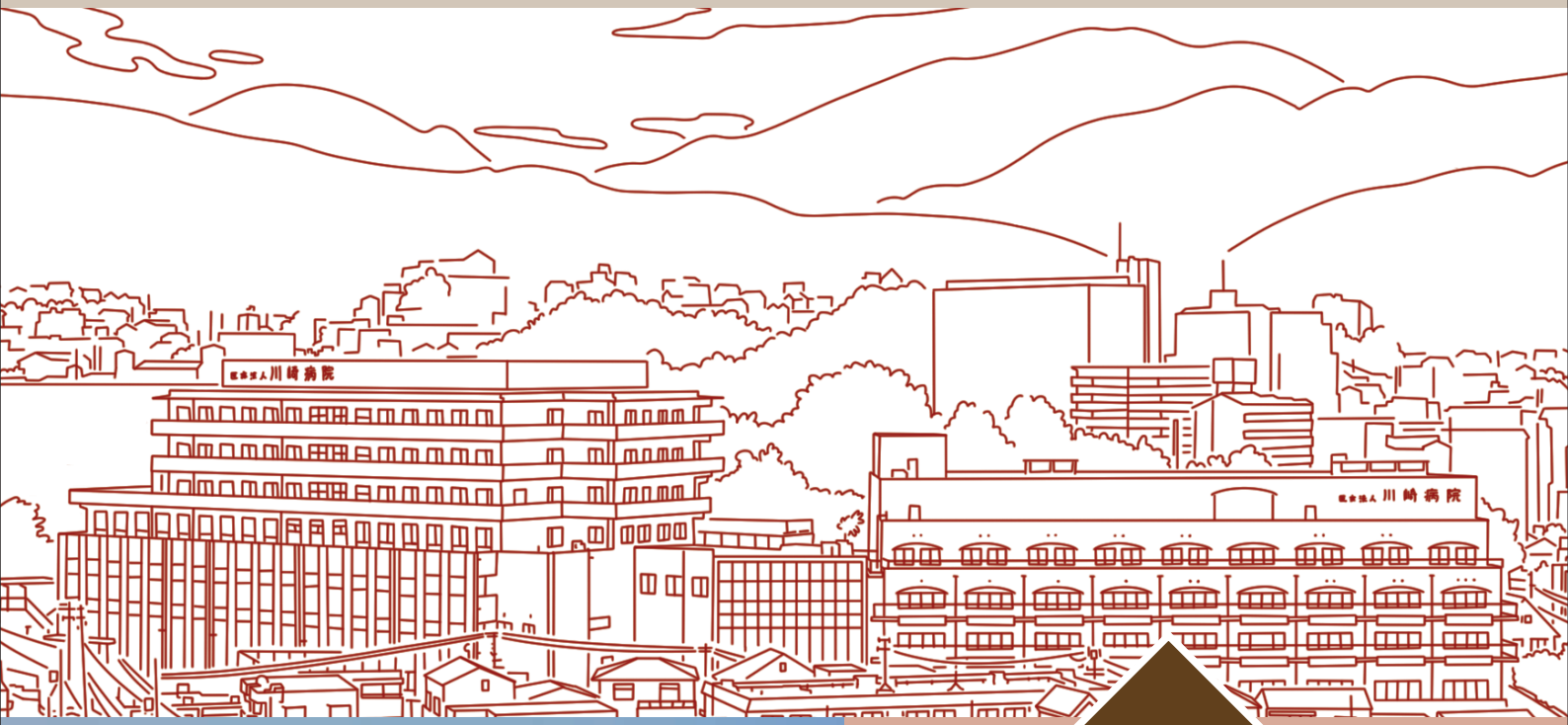
Vol.45　2024年12月発行

川崎病院通信



Beyond Boundaries,
Buiding the New Era!

TOPICS

特集　心臓と肺の病を攻略

◆心不全外来
- 心不全パンデミックがやってきた！
- 隠れ心不全をウォンテッド！
- 丁寧な問診から高度な画像検査・心臓カテーテル検査まで！

◆呼吸器外科外来 新設
- 気胸
- 膿胸・胸水貯留
- 肺がん（非小細胞性肺癌）

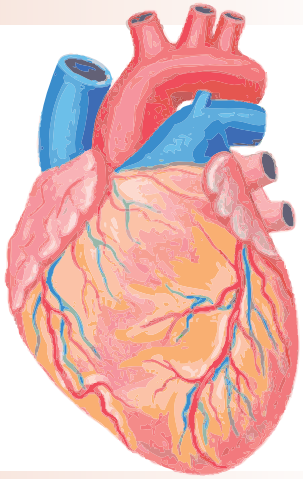
◆専門特殊外来のご紹介
乳腺外来

◆新入職医師のご紹介

特集　心臓と肺の病を攻略

〈心不全外来〉

心不全パンデミックがやってきた！



心不全には、心臓の「動きが悪くない」にもかかわらず発症するタイプがあり、従来の「動きが悪い」心不全と同等かそれ以上に予後が悪いことが分かっています。特に高齢者ほど、このタイプの割合が増えることが明らかになっています。時代は高齢化社会を迎え、新たに高齢の心不全患者が大幅に増加する、「心不全パンデミック」の時代が到来しました。現在、日本の死亡原因のうち、心疾患は15.3％を占め、悪性疾患の27.4％に次いで2位です。心不全は、発症すると悪性疾患に匹敵する予後不良な疾患であり、その増加を抑えるには、心不全を予防することが重要です。では、どのようにすれば予防できるのでしょうか？

隠れ心不全をウォンテッド！

心不全のリスクがある患者を早期に見つけ、適切な介入につなげることが重要です。日本心不全学会は、血中BNPまたはNT-proBNP値の測定を指標として推奨しています。最近、心不全診療に関するステートメントが改訂され、循環器専門医への紹介基準のカットオフ値が引き下げられました。これにより、症状や兆候がなくても、将来的に心不全へ進行する可能性がある（＝前心不全）ことを早期に把握し、精査・介入することを目指しています。BNP=35pg/mL、NT-proBNP=55pg/mLが前心不全状態のカットオフとされ、この値を超える場合は循環器内科専門医への紹介が推奨されます。

丁寧な問診から高度な画像検査・心臓カテーテル検査まで！

「動悸」「息切れ」「むくみ」は有名な症状ですが、「咳が増えた」「疲れやすくなった」「横になると息苦しい」といった心不全の症状も多岐にわたります。前心不全とは、こうした症状が無い状態を指しますが、心電図、レントゲン検査、心エコー検査を行い、BNP/NT-proBNP値が上昇する原因を調べます。狭心症や心筋梗塞といった虚血性心疾患、左室肥大や弁膜症の有無も確認します。虚血性心疾患が疑われる場合、心臓CTや核医学検査で診断後、心臓カテーテル検査・治療を行います。左室肥大や著しい心機能低下がある場合は心臓MRIや核医学検査を用いて心筋症の有無を調べます。当院では、これらの画像検査がすべて可能であり、隠れ心不全が疑われる際には当院を受診いただければ、責任をもって治療を進めさせていただきます。

〈心不全外来〉

高田 昌紀

循環器内科部長
血管内治療科部長

資　格：循環器学会専門医、内科学会総合内科専門医、JMECC（日本内科学会認定内科救急・ICLS講習会）/ICLSインストラクター、日本心血管インターベンション治療学会（CVIT）専門医、心臓リハビリテーション学会認定指導士
診療日：毎週火曜日 14：00～15：30　完全予約制

〈呼吸器外科外来〉

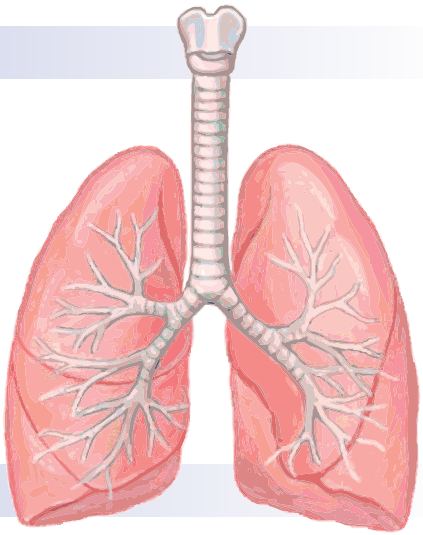
舟木 壮一郎

兵庫医科大学呼吸器外科
主任教授

資　格：呼吸器外科学会 専門医
がん治療認定医、胸腔鏡安全技術認定医
ダビンチ 術者認定資格 プロクター資格
移植学会 認定医
診療日：毎週月曜日 13：30～15：00

〈呼吸器外科外来〉 新設

気　胸



対象者

・気胸は若いやせ型の男性や、喫煙歴のある慢性閉塞性肺疾患の中高年の方

主な症状

胸痛・呼吸困難感など

検査・治療方法として

胸部レントゲン検査にて肺虚脱の程度、さらに詳しく診断するには胸部CT検査を行います。軽度な場合は経過観察にて治癒しますが、重症度によっては、「胸腔ドレナージ」を施行します。

膿胸・胸水貯留

対象者

・膿胸は高齢者の肺炎併発や、寝たきり状態、基礎疾患を有する方

主な症状

胸痛・咳嗽・発熱・全身倦怠感・呼吸困難感など

検査・治療方針として

胸水量や、内部性状、肺炎併発の有無などは胸部CTで調べ、血液検査の結果と併せて（炎症反応上昇など）総合的に治療方針を決定します。胸水貯留と膿胸の鑑別が難しく、抗生剤加療で軽快しない場合や、炎症反応が高値の場合は「胸腔ドレナージ」や、必要に応じて手術による外科的ドレナージを行うこともあります。

肺がん（非小細胞性肺癌）

我が国の臓器別がん死の一位で男女にともに増加傾向。

主な症状

咳嗽・血痰など

無症状のこともある。

外科治療が必要な場合は兵庫医科大学と緊密な連携をして最善の治療をご提案します。

検査・治療方針として

胸部レントゲン検査・CT検査・脳MRI・PET-CT気管支鏡・などを組み合わせて病期を診断します。

治療は手術・薬物治療・放射線治療の３本柱。病期によって治療法が異なります。

ぜひ当院にご相談ください！

日常診療で患者さんが訴える胸部症状は、呼吸困難、息切れ、胸痛、動悸など様々ですが、心不全や虚血性心疾患が疑われ循環器内科に受診されても、実際は肺炎や気管支喘息といった呼吸器疾患であったり、逆に呼吸器疾患が疑われても実際は循環器疾患のこともあります。当院には、循環器内科と呼吸器内科の専門医がおりますので、適切に診断と治療をおこなうことができます。また、必要に応じて外科医とも相談し、治療方針を決定することができます。胸部症状があっても、我慢されていたり、年齢のせいだと思い込んでいる患者さんもおられるかもしれません。循環器疾患、呼吸器疾患が疑われる患者さんがおられましたら、ぜひ当院に御紹介ください。

専門特殊外来のご紹介

乳　腺　外　来

乳癌はStage Ⅰ、Ⅱであれば現在５年生存率90%以上と予後がよい癌です。２年毎の乳癌検診、月１回の自己触診にてほとんどは早期発見できますので、是非かかりつけの患者さんにも乳癌検診をお勧めいただけますと幸いです。また、乳癌患者さんの中には、恐怖心や羞恥心により乳房潰瘍や出血を認めても受診できずにおられる方も少なくありません。その状態であっても、遠隔転移があったとしても年単位で予後が見込めることが多いのでお気軽にご相談ください。現在手術は当院で行っておらず、ご希望施設へご紹介させていただいておりますが、術前精査、術後follow upは当院でも可能ですのでお気軽にご予約いただければ幸いです。

（山本　真由子）

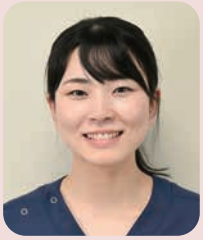
診 察 日：毎週　火曜日　午前9：00～11：00
担当医師：山本　真由子　（非常勤医師：神戸大学）
診療対象：・完全予約制
・乳房腫瘤の精査（マンモグラフィ、超音波、乳房造影MRI、針生検）
・術後follow up、ホルモン療法
・授乳中乳腺炎

新 入 職 医 師 の ご 紹 介

救急科　**吉龍 正雄**

●専門分野
心臓血管外科
●資格
外科指導医・循環器専門医・心臓血管外科専門医機構修錬指導者
●趣味
観葉植物
●メッセージ
心臓血管外科全般に広く携わっていました。地域の皆さまのお役に立てるように精進したいと思います宜しくお願い致します。

歯科口腔外科　**森鼻 真以**



●専門分野
歯科口腔外科
●資格
口腔外科学会登録医
●趣味
カフェ巡り・映画鑑賞
●メッセージ
まだまだ未熟ですが
精一杯頑張ります。
宜しくお願い致します。

●ご予約について

地域医療連携室にお電話、もしくは診療情報提供書をFAXでご送信ください。20分以内に予約票を返送いたします。患者さんへ予約票と診療情報提供書をお持ちのうえ、ご来院いただきますようお伝えください。

TEL：078-511-3133
（地域医療連携室直通）
FAX：078-511-3297

●ご予約受付時間　※診療時間とは異なります

平　日　8:30～18:30（木曜日は17:00まで）
土曜日　8:30～12:40（第１・３・５のみ）

診療予約・検査予約に関するページはこちらのQRコードからご覧いただけます。

医療法人 川崎病院
KAWASAKI HOSPITAL
神戸市兵庫区東山町３-３-１
TEL：078-511-3131（代表）

発行責任者：病　院　長　西村　元延
編集責任者：経営管理部　古谷　秀文